



# 平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成29年11月14日

上場会社名 日本伸銅株式会社  
 コード番号 5753 URL <http://www.nippon-shindo.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 原田 孝之  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括部長 (氏名) 木本 道隆  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 平成29年12月5日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 072-229-0346

平成29年12月5日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第2四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	9,064	26.1	613	99.7	468	34.0	353	43.0
29年3月期第2四半期	7,190	4.3	307		349	102.7	246	52.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	149.58	
29年3月期第2四半期	104.62	

当社は、平成28年10月1日付で、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	11,825	5,934	50.2	2,514.10
29年3月期	11,130	5,582	50.2	2,364.75

(参考)自己資本 30年3月期第2四半期 5,934百万円 29年3月期 5,582百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		0.00	0.00
30年3月期		5.00			
30年3月期(予想)				5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,500	10.7	900	2.6	750	1.8	550	1.4	233.01

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

注) 詳細は、添付資料P. 6「2.四半期財務諸表及び主な注記(4)四半期財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	2,370,000 株	29年3月期	2,370,000 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	9,575 株	29年3月期	9,470 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	2,360,480 株	29年3月期2Q	2,360,802 株

当社は、平成28年10月1日付で、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。  
前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
第2四半期累計期間 .....	4
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	5
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における世界経済は、米国と中国を中心に、緩やかに回復しました。わが国経済は、安定した円安相場の下、電機産業などが牽引する形で、景気の緩やかな回復が続きました。

この結果、当社の当第2四半期累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

販売数量は12,709トン（前年同四半期比5.4%減少）となりましたが、銅相場が前年同四半期と比較して高い水準だったため、売上高につきましては90億64百万円（同26.1%増加）となりました。収益面につきましては、営業利益は6億13百万円（同99.7%増加）、経常利益は原料相場のリスクヘッジのためのデリバティブ損失98百万円を計上したことなどにより、4億68百万円（同34.0%増加）となり、四半期純利益は3億53百万円（同43.0%増加）となりました。

当社は伸銅品関連事業の単一セグメントとしております。伸銅品関連事業の部門別の業績を示すと、次のとおりであります。

## (伸銅品)

当社の主力製品である伸銅品は、販売数量12,325トン（前年同四半期比6.0%減少）、売上高は78億43百万円（同17.2%増加）となりました。

## (伸銅加工品)

伸銅加工品においては、売上高は3億47百万円（前年同四半期比60.8%増加）となりました。

## (その他の金属材料)

その他の金属材料は、伸銅品原材料の転売が主で、売上高は8億73百万円（前年同四半期比211.4%増加）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は86億41百万円となり、前事業年度末に比べ10億26百万円増加しました。これは主に売上債権が6億67百万円増加したことによるものであります。固定資産は投資その他の資産が2億98百万円減少したこと等により31億84百万円となり、前事業年度末に比べ3億32百万円減少しました。

この結果、資産合計は118億25百万円となり、前事業年度末に比べ6億94百万円増加しました。

## (負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は53億56百万円となり、前事業年度末に比べ3億58百万円増加しました。これは主に短期借入金が増加したことによるものであります。固定負債は5億34百万円となり、前事業年度末に比べ16百万円減少しました。

この結果、負債合計は58億90百万円となり、前事業年度末に比べ3億42百万円増加しました。

## (純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は59億34百万円となり、前事業年度末に比べ3億52百万円増加しました。これは主に四半期純利益3億53百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は50.2%（前事業年度末は50.2%）となりました。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成29年10月13日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	170	197
受取手形及び売掛金	3,757	3,986
電子記録債権	1,503	1,941
商品及び製品	601	678
仕掛品	939	1,091
原材料及び貯蔵品	529	687
その他	112	57
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	7,614	8,641
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,078	2,078
その他	616	579
有形固定資産合計	2,694	2,658
無形固定資産		
投資その他の資産	9	11
その他	812	514
投資その他の資産合計	812	514
固定資産合計	3,516	3,184
資産合計	11,130	11,825
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,204	1,140
短期借入金	3,300	3,700
未払法人税等	216	170
賞与引当金	83	82
その他	194	262
流動負債合計	4,998	5,356
固定負債		
退職給付引当金	45	45
その他	504	488
固定負債合計	550	534
負債合計	5,548	5,890
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,595	1,595
資本剰余金	290	290
利益剰余金	3,617	3,970
自己株式	△16	△16
株主資本合計	5,486	5,839
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	95	95
評価・換算差額等合計	95	95
純資産合計	5,582	5,934
負債純資産合計	11,130	11,825

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	7,190	9,064
売上原価	6,546	8,102
売上総利益	644	962
販売費及び一般管理費	337	348
営業利益	307	613
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	17	10
デリバティブ利益	33	—
その他	0	3
営業外収益合計	51	14
営業外費用		
支払利息	1	1
売上割引	2	2
デリバティブ損失	—	98
デリバティブ評価損	4	56
その他	0	0
営業外費用合計	9	159
経常利益	349	468
特別利益		
固定資産売却益	1	—
投資有価証券売却益	—	54
特別利益合計	1	54
特別損失		
固定資産除却損	—	0
投資有価証券売却損	—	10
特別損失合計	—	10
税引前四半期純利益	350	512
法人税等	103	159
四半期純利益	246	353

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	350	512
減価償却費	76	67
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△2	0
受取利息及び受取配当金	△17	△10
支払利息	1	1
売上割引	2	2
固定資産売却損益 (△は益)	△1	—
固定資産除却損	—	0
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△44
売上債権の増減額 (△は増加)	170	△670
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△19	△387
仕入債務の増減額 (△は減少)	15	△64
その他	△107	105
小計	469	△487
利息及び配当金の受取額	17	10
利息の支払額	△1	△1
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△22	△198
営業活動によるキャッシュ・フロー	462	△676
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△27	△30
有形固定資産の売却による収入	1	—
無形固定資産の取得による支出	—	△3
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	—	341
その他	0	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27	305
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△500	400
自己株式の取得による支出	△0	△0
その他	△2	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△502	398
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△67	27
現金及び現金同等物の期首残高	315	170
現金及び現金同等物の四半期末残高	247	197

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。